

第45回小金井市新型インフルエンザ等対策本部部会	日 時	令和2年11月17日(火) 10:00~10:45	場 所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長 天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、堤行政経営担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長、永井健康係長 松崎地域福祉課主事			
議題	1 令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について 2 クラウドファンディングについて 3 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針(第4弾) 4 各部連絡事項			
資料	1 令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について 2 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針(第4弾) 3 発熱外来・診療事業の現状報告について			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>市長：東京都では感染者が増加し、日々余談を許さない状況となっている。本市の感染者数も昨日の発表では154名となっており、全庁的に感染予防対策の重要性について継続的に情報発信していきたい。</p> <p>【令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について】</p> <p>財政課長：内容について意見等がある場合は、11/18まで財政課長へ。変更等がある場合は、理事者一任で決定し、その後ホームページに掲載する。</p> <p>市長：「市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業」の進捗について教えてほしい。</p> <p>健康課長：都に確認したところ、発熱外来の設置については補助の対象外。障害施設や介護施設におけるPCR検査費用の助成については現在審査中で、早ければ今週末までに内示が出る見込み。</p> <p>【クラウドファンディングについて】</p> <p>健康課長：12/1-12/28を募集期間とし、現在は募集のためのホームページのコンテンツを作成中。ホームページに掲載するイメージ写真等も、医療従事者協力のもと撮影ができたところである。クラウドファンディングによる寄附の用途については、現在医師会が検討している。</p> <p>クラウドファンディングについて、当初医療・福祉のために活用という説明をしたが、今回は医療のみを対象とする。2月の議会で議決をもらい、今年度中に執行予定。</p> <p>行政経営担当課長：今後の予定として11/25にプレスリリース、11/27に記者会見の予定</p> <p>市長：クラウドファンディングについては、「緊急対応方針(第3弾)」の「市民のサービスを守る」の中で明示している。市のホームページのトップ画面に専用ページのリンクを貼ってほしい。なお、クレジットカードでの寄附は可能か？</p> <p>行政経営担当課長：基本的にはクレジットカードでの寄附となるが、現金を持参する市民もいると思うので対応する。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針(第4弾)】</p> <p>健康課長：先日からの追加項目について。1点目は、「いのちを守る」(3)「PCR検査等費用の補助について」。介護事業所・障害者支援施設等の従事者又は利用者への補助である。2点目は、「くらしを守る」(1)「高齢者への介護支援」である。これは、介護者がコロナに罹患した場合の要介護者の居場所について掲載している。「新型コロナワクチンの接種状況」についても追加した。</p> <p>PCR検査等の費用について「区市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業」が採択されなかった場合、新型コロナウイルス感染症対策基金を財源とする可能性もある。</p> <p>福祉保健部長：「くらしを守る」の(1)高齢者への介護支援について。介護者が罹患し介護ができなくなった場合、要介護者が一時的に、武蔵野中央病院及び町病院に滞在できるよう、最終的な調整に入っている。</p> <p>「新型コロナウイルスワクチンの接種状況」についても、庁内体制の強化について早急に関連部局と調整に入る。次回の本部において、方向性をある程度示したい。</p> <p>【各部連絡事項】</p> <p>1. 年末年始の休暇取得の促進について</p> <p>総務部長：都を通じて国から11/4付で「地方公共団体における職員の年末年始の休暇の取得の促進について」という通知が来た。これは10/23に開かれた新型コロナウイルス感染症対策分科会において提言があったもので、内容としては、年末年始の休暇に加えてその前後にも職員が休暇を取得することを奨励するものである。後日全庁的に通知を出すので、各職場において可能であれば、休暇の取得を奨励していただきたい。</p>				

2. 小金井市の新型コロナウイルス感染症に関する公表の考え方について

生涯学習部長：「新型コロナウイルスの感染者に関する公表の中で、退院者等の人数を示しているが、その中で死亡者は何人なのか。」という質問が、昨日開かれた審議会の中であった。「人権等に配慮して市の基準に沿って公表している。」と回答したが、その他でも同様の質問があり、死亡者数については関心が高いようである。

健康課長：健康課の審議会の中でも同じような質問があったが、死亡者数については個人情報であるため答えられないと伝えている。

3. 発熱検査・診療事業の現状報告について

健康課長：発熱外来という名称は、誰でも診療を受けられるというような誤解を与える、との指摘を医師会から受けたため、「発熱検査・診療事業」という名称に変更した。12/13 の開設準備に重視するため、地域福祉課の松崎主事が11/16 から12/11 までの間、健康課の専属となっている。

11/16 から現場の工事が始まり、工期は12/4 までの予定である。工事を迅速に終わらせるために、パーティションなどの組み立ては工事の終盤から健康課で行っていく。

発熱診断・検査説明会について、11/21 に予定。前回より範囲を広げてお知らせを配布した。また、保健センターが学区域に入るため、小金井市立第四小学校にも配布したほか、賀川学園と愛の園保育園にも配っている。当日は、医師会から山崎医師が来て説明を行う。

搬送車両について、都の無償貸与は終了の方向だが、日産レンタカーから陰圧車の貸し出しを受ける。

福祉保健部長：体制強化について、地域福祉課から専属での応援体制が整った。企画財政部や都市整備部などの関連する部署との連携も不慣れな中進めていくので、協力をお願いします。

市長：市民との座談会を実施し、活発なご意見をいただいた。また発熱検査・診療事業の実施のため、地域福祉課から松崎主事が応援に来ることとなった。新型コロナワクチン接種について、先週から準備しているところだが、しっかりと取り組んでいき、応援体制も確実に必要となるため検討していきたい。発熱検査・診療事業の運営も医師会の協力を得ながら、しっかりと取り組んでいきたい。

以上